

2019年度 第一中学校区小中一貫グランドデザイン

須賀川市の小中一貫教育のねらい

- 9年間での段階的・着実な実践
- 小・中相互の学習状況に応じた効果的な指導
- 小中交流研修等による教員の専門性の向上
- 総合的な学習の時間等の連続性のある指導
- 学習活動や行事等の交流による相乗効果

9年間を通して求める児童・生徒像

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」

- 【豊かな心】
 - ・ 気持ちのよいあいさつができる子ども
 - ・ 時、場、目的に応じたけじめのある言動ができる子ども
 - ・ 自他を認め、声をかけあい、高め合う子ども
- 【確かな学力】
 - ・ 基礎的・基本的事項を身につけている子ども
 - ・ 教科の特性に応じた学び方を身につけている子ども
 - ・ 自ら考え友だちと学び合い、探究する子ども
- 【健やかな心と体】
 - ・ 健全な生活習慣を身につけている子ども
 - ・ 望ましい食生活に関心を持ち、体力向上に向けて努力する子ども

小中一貫教育で期待される効果

- 小中学校の教員が、互いの授業にサブティーチャーとして入ることによって、子どもの学力の状況の変化を長期に渡ってつかめる。
- 中学生の上級生としての自覚が育つ。
- 小学生の中学校への抵抗が減ることによる不登校問題、中一ギャップの改善が図られる。
- 9年間を見通した組織的、継続的な生徒指導が展開される。

確かな学力

- 【共通指導事項】 ○学習意欲を高める
「学習規律の徹底・家庭学習の習慣化・基礎基本の定着」
- ◆ 授業スタンダード、家庭学習スタンダードを生かした、小中を見通したカリキュラムによる学習指導の推進
 - ・ 学習内容のつながり、指導の一貫性を大切にします。
 - ◆ 一小一中一貫授業研究会
 - ・ 小中全職員で授業を公開し合い、テーマに迫る授業づくりを進めます。
 - ◆ 家庭学習・読書活動の充実
 - ・ 家庭学習と授業を連携した授業づくりを進めます。

豊かな心

- 【共通指導事項】 ○豊かな人間性・社会性を育てる
「規範意識の高揚、絆づくりの推進」
- ◆ 心に響く特別の教科「道徳」の実施
 - ・ 「共に生きる社会」の授業実践と、教育活動全体を通じ、9年間に渡って道徳教育を充実させます。
 - ◆ 小中連携あいさつ運動
 - ・ 中学生が小学生に、小学生が中学生にお互いのあいさつを通して心の交流を進めます。
 - ◆ 正しい言葉づかいの実践
 - ・ コミュニケーションのベースとなる言葉づかいの指導を通して人間関係の醸成を図ります。

健やかな心と体

- 【共通実践事項】 ○健全な生活習慣を身につけ、体力を高める
「体力・運動能力の向上や生活習慣の改善」
- ◆ 小中で連携した体力づくりの実施
 - ・ 授業改善や環境整備に努め、体力の向上に努めます。
 - ◆ PTAとの連携による地域一帯での子どもの育成
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを進めます。
 - ・ ノーメディアデーを進めます。(毎週水曜日)
 - ・ 一小一中子どもを育てる会を生かし、児童生徒の安全、健全育成を図ります。
 - ◆ あきらめずに努力する子どもの育成
 - ・ 規則正しい生活習慣づくりと日常的な運動の経験を通して、努力の大切さや忍耐力を育てます。

【学びの連携】

- 2回の授業研究会の共催、小中教員の交流研修、中学校教員の小学校授業サポート等を通して授業の質を高めるとともに、小中の連続性を意識した授業の実践に努めます。
- 小中全職員が9年間を見通した「一小一中の各教科のカリキュラム」を活用し、指導に生かします。
- 総合的な学習の時間の交流学习(松明あかし)を行います。
- 学び合いを生かした授業づくりを行います。
- 学習訓練の徹底を図ります。
- 学年に応じた家庭学習時間を設定し、8割以上の達成をめざします。
- 学年に応じた読書冊数を設定し、8割以上の達成をめざします。

【生活面の連携】

- 児童生徒の生徒指導、体験交流連携について定期的に話し合い、課題解決を目指します。
- 特別の教科「道徳」の時間を要とし、豊かな心の育成を図ります。
- クラブ活動・特設クラブで、中学校教員の専門性を生かした指導を行います。
- 特設クラブ・部活動で、児童生徒の合同練習会を行います。
- 縦割り活動のよさを生かした活動の充実を図ります。(清掃、児童会・生徒会活動)

【家庭・地域との連携】

- ふるさと学習を通して、わがまち須賀川のよさや伝統を味わわせます。
- 各学年で地域人材を活用した授業に取り組みます。
- 学校HPにより、学校の様子を毎日知らせます。
- 学校だより、学年だよりを地域に回覧します。
- 家庭との連携・協力により、朝ごはん摂取率100%の達成、肥満傾向児童生徒の解消をめざします。
- 情報モラルについて、学校・家庭協力のもと指導し、携帯電話・スマートフォン、SNS等のトラブルの未然防止を図ります。

	前期（基礎構築期）				中期（協働実践期）			後期（自己実現期）	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
確かな学力	●学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟				●身につけた力の活用と論理的の思考の育成			●自ら学ぶ態度と他と関わり合った課題追究力の育成	
豊かな心	●自他の尊重と規範意識の育成				●自ら考え判断し行動する能力の育成			●下級生の模範となる高い意識・実践力の育成	
健康な心と体	●基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上				●望ましい運動習慣・生活習慣の確立			●自らの課題を自覚し、改善する能力の育成	

小中の接続を円滑化・充実させる取組(活動実践期)

- 小・中職員間での定期的な授業参観・情報交換会・乗り入れ授業(交流研修)
- 中学校入学説明会・体験入学(中学校授業体験・部活動体験)
- 小学校高学年での中学校への接続を意識した一部教科担任制